



THE ROTARY CLUB OF MIYOSHI CHUO

三次中央会報 ロータリークラブ

2020-2021 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

事務所/ 広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mrcr.server-shared.com

例会場/ 広島県三次市十日市南1-10-1
三次グランドホテル
例会日/ 月曜日 12:30~13:30

会長 / 石田 光雄
幹事 / 大井 睦子

- 本日のプログラム 夜間例会 会員卓話/職業奉仕委員会担当
野村明弘君、中島清祐君、上田秀樹君
- 次回例会日時 2020年12月7日 12:30~13:30
- 次回プログラム 年次総会 次年度役員選出/上半期報告

●2020~21年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは世界の扉を開く

●2020~2021年度 三次中央RCスローガン
出会いの扉を開き、新しい仲間と
ロータリーをとことん楽しもう

■第1313回例会記録

- 日時.....2020年11月9日(月) 12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「我らの生業」.....全員



■開会挨拶.....石田会長

クラブ戦略計画について



皆さん こんにちは。
大山でも初冠雪があり、いよいよ冬シーズン到来という感じですね。今日は、ロータリー財団担当の例会となっております。中島清貴会員、よろしく願いいたします。

皆さんは、GOTO キャンペーンの商品が使われたことがありますか？先週タクシーでお客様が初めて使われました。また先日、庄原かんぼで入浴中アナウンスがあり「東京都よりお越しの〜さん」 だいぶGOTOでの移動が増えてきたな、と実感したところです。

まあその分、北海道のように感染者が増えていきます。しかし、中央病院の中西先生がいわれたように、予防と対策をしっかりとしていれば、感染は防げるということです。

さて本日は、非常に分かりにくいクラブ戦略計画について、大之木PGが地区研修で使われる予定だった資料をもとにお話をいたします。まず、クラブ戦略計画とは何か？であります。

- 1) ロータリークラブがこれからもダイナミックな組織であり続け、世界中の地域社会に貢献していく為の指針となるもの。未来志向のクラブにおける活性化策。
- 2) クラブが置かれた立場と多様性を踏まえて、クラブの持続的成長が可能となるような中・長期計画を、おのこのクラブが独自に立案し、その一つ一つを着実に実践していくことが、「クラブ戦略計画」の基本的コンセプトである。
- 3) クラブの実態に応じた独自のものであり、何通りの戦略計画があってもよい。
- 4) おのこのクラブにおける「現在と未来との対話」である、と説明されています。

戦略計画において重要なことは、2019年に発表されたRI戦略計画委員会による新構想「ロータリーのビジョン声明」に基づく行動計画を5年間実施するということです。「ロータリーのビジョン声明」とは、「私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身のなかで、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」ということです。頑張りましょう。

以上で会長挨拶を終わります。

■幹事報告.....大井幹事

- 古舎ロータリークラブより、例会場変更のお知らせが来ております。古舎町古舎371番地、電話番号は43-7272(自治速)です。なお、メイクアップの連絡は例会日前日の12時までとなっております。
- 広島ドナーバンクの事務局長、野田様よりメールが届いております。11月19日(木)三次市役所にて献血会場が設置されるにあたり、ドナー登録会を開催する運びとなりました、とのこと。よろしくお願いたします。
- 11月24日(火)むらたけ総本家において歴代会長会が開催されます。
- 次週11月16日(火)は夜間例会です。
- 11月23日、30日は休会となっております。

■出席報告.....野村委員長

●第1311回 10月19日

会員数	39名	Make-up	1名
欠席	7名	出席合計	33名
欠席者の欠席理由	2名	出席率	89.19%

●Make-up...小根森君

●第1313回 本日の出席は40名中33名です。

■中島清祐会員よりご挨拶.....

先日の父の葬儀には、皆さまありがとうございました。今後も今までと変わらぬご厚情を賜りますよう、よろしくお願いたします。

■SAA.....中島SAA

●会員ニコニコBOXご出宝

- 中島清祐君 妻の誕生日、お花ありがとうございました。家中、花いっぱいでした。(大)
- 井上幸三君 妻、満里子誕生日。美しい花、ありがとうございます。(大)
- 石田君 中島清貴会員、楽しみにしています。
- 篠原君 シルバー人材センター南部支所、本日より新事務所にて業務開始しました。
- 中島清貴君 ロータリー財団担当例会です。よろしくお願いたします。
- 平田君 今日の松江道の高野山は紅葉で素晴らしかったです。
- 角谷君 中島清貴君、がんばって!
- 瀧本君 ロータリー財団担当の例会です。中島清貴君、よろしくお願いたします。

ニコニコBOX本日出宝額 16,000円

卵酒

今週から円卓になり、話に花が咲きました！「卵酒っていいよねえ〜。からだか暖まる」と小根森会員。「子どもの頃から好きだったから、そのせいでお酒好きになったかな？ふふふ」みなさん、寒い夜は卵酒で一杯いかが。心まで暖かくなるかも……。

投稿：和田会員



久しぶりの円卓での例会場。

ひとテーブルに4人とソーシャルディスタンスを保ちながら。いつもの賑やかな会話が控えめなので、残念でした。コロナ感染症が拡散しないことを願います。

ロータリー財団について

国際奉仕委員会 ロータリー財団担当 中島 清貴



まず始めに、2本の動画を見ていただいて、その後、2660地区の財団セミナーで使われたパワーポイントの資料を見ながらお話しさせていただきます。



【ロータリー財団の歴史】

ロータリー財団の父と言われるアーチクラフは、1914年に国際ロータリー連合会破綻状態（1回限りの寄付で切り抜けた）となった事を憂慮し、会費収入が予期せず減少しても、連合会（現在の国際ロータリー）の財務の安定を保つ為の恒久的基金の必要性を強く感じていました。

アトランタ国際大会における基金設立の呼びかけは、「世界で良いことをしよう」という目的には間違いはないが、戦争による世界経済の悪化など万一のための国際ロータリーの後ろ盾、つまり基金がロータリーを不滅にする手段と考えたとされています。

1917年 国際ロータリー連合会基金の設置

1928年 ロータリー財団創立
(初代管理委員長 アーチ・クラフ)

1930年 初の補助金「国際障害児協会」

1947年 初の奨学金制度導入

国際ロータリーは、1945年国際連合設立のためのサンフランシスコ会議に招致されたことから国際奉仕に取り組むようになり、この活動を支えるためにロータリー財団は多くの補助金を提供し発展していくのです。

【ロータリー財団の定義と使命】

定義は、「ロータリークラブおよび地区を通じて実施され承認された人道的および教育活動を支援するための寄付を受け、資金を配分する非営利団体である」

使命は、「ロータリアンが人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援すること」

【ロータリー財団のプログラムと補助金】

教育的プログラム { グローバル奨学生
地区補助金奨学生
ロータリー平和フェロー

人道的プログラム { グローバル補助金
地区補助金
災害救援補助金
大規模プログラム補助金

特別プログラム……ポリオ・プラス

【ロータリー財団 シェアシステム】

シェアシステムでは資金を国際財団活動資金(WF)と地区財団活動資金(DDF)に二分され、DDFはロータリー補助金と「世界でよいことを

する」ための活動に充てられます。WF の用途は管理委員が決定し、DDF の用途は各地区のロータリー財団委員会が決定します。

DDFには3つの用途があります。

①グローバル補助金：グローバル補助金に配分された DDF と同額が WF から上乗せされる。

②地区補助金：地区補助金に配分された DDF は、地区に一括して支払われる上限つきの補助金。上限はその年度に利用できる資金に基づいて計算される。

③寄贈：ポリオプラスまたはロータリー平和センターなどに配分された DDF は寄贈と呼ばれる。

【ポリオとコロナ】

8月25日（日本時間26日午前0時30分）、WHO アフリカ地域の野生型ポリオウイルス根絶が正式に認定されました。この認定は、アフ

リカ最後のポリオ常在国であるナイジェリアで、野生型ポリオの症例が最後に記録されてから4年が経過した後に行われるものです。

しかし発症数はパキスタン・アフガニスタンで増加しています。すべての子どもに安全にポリオワクチンを投与出来るよう“ポリオ根絶のコミットメント”を強く保つことが必要です。

【ロータリー財団の補助金と奨学生】

ロータリー財団の補助金の種類

地区補助金、グローバル補助金、COVID-19 対応グローバル補助金があります。

財団奨学金プログラムには、グローバル補助金奨学生と、地区補助金奨学生があり、当地区では現在、グローバル補助金奨学生2名、地区補助金奨学生1名がそれぞれ海外の大学で学んでいます。

以上で、説明を終わります。ありがとうございました。



■点鐘

石田会長

会員ひろい話 vol.11 「本」その2

先週に引き続き今回も「本」です。

■沈会員

本？思い出に残る本……『天国に一番近い島』！（失礼ながら意外な題名を聞いてしまいました！）小学校中学年位だったかな？まず、題名に引かれました！きれいで、幸せなところといった印象が残っています。内容は憶えていません。

そうそう『ビルマの豎琴』。やはり小学校高学年の時読みました。ビルマで日本兵とイギリス兵が戦場で対峙しながら、「蛍の光」を歌うシーンが印象に残っています。戦いの対極にある人間としての普遍性。平和の大切さを伝えてくれた本だと思いますね。

■信国会員会員

心に残る本

京都大徳寺大仙院の僧侶、尾関宗園の著書で『平常心』の中から、（激動期を生き抜く心の500語）という文言があります。それは、自分自身の将来は、いまこの瞬間にある。今やらなくていつやる！と言う言葉が印象に残っております。

さらに、常に周囲の事にも気配りが出来、ものごとを冷静に判断し、その瞬間瞬間を懸命に生きてゆく！！そんな人生を繰り返したいものです。（寄稿）



平常心—激動期を生き抜く心の500語